

# 2019年3・1百字宣言募集の呼びかけ

## —100年前を思い、これからの100年を考えるために—

1919年3月1日、朝鮮ソウルで一つの宣言書が発表され、この日以降、植民地支配を続けようとする日本の警察と軍隊によって押さえつけられるまで、朝鮮独立を求める人びとは示威行動を繰り広げました。この3・1運動は、朝鮮・韓国の人びとにとって、自分たちの国を取り戻すために行われた歴史として語り継がれ、記念されています。またそれは、韓国・朝鮮の人びとのみならず、世界のすべての人にとっても、記憶し、記念されるべき出来事と言えるでしょう。なぜならば、誰かを劣った存在として、差別し、自己決定権を奪い取る植民地主義によって傷ついている人が存在し、それゆえに、その根絶をめざすたたかいが続けられているからです。

しかも、1919年からちょうど100年を迎えようとしている今日の世界では、残念ながら、様々な大切な歴史的事実がしばしばかえりみられないままになっています。それどころか、あったことをなかったことにしたり、力を持っている者によって勝手な解釈が宣伝されたりしてもいます。そんな今こそ、私たちは3・1運動を記念し、その世界史的意義を広くアピールしていかなければなりません。その際には、その史実を無味乾燥な年表の1行として覚えるだけでは意味がないでしょう。私たちは、その時に何が起こったのか、行動に立ち上がった人びとがどんな思いでいたのか、さらには支配をうける人びとがどんな暮らしをしていたのかについて思いを寄せ、そのことを学び、記憶し、伝えなければなりません。

それとともに、私たちは、1919年3月1日に宣布された「宣言書」を、100年後の今日にこそ読んでみるべきであると考えます。そこには、100年後のいまを生きる私たちに示唆を与え、勇気を奮い立たせる言葉があり、まだ解決されず追い求めなければならない課題が語られているためです。そして、とりわけ、日本に住み、日本の政治に責任を持つ者にとっては3・1運動の「宣言書」を読むべき責務があるでしょう。

100年前に、日本の植民地支配に対し何が問題であり、なぜそれに抗うのかについて書かれた言葉に対して、日本人びとはどのように対応したのでしょうか。100年前の時点のみならず、その後の100年ずっと今日まで、この「宣言書」に何が書かれているかを知ろうとし、それを通じて何を訴えかけようとしたのかを考える人は、ほとんどいなかったのではないのでしょうか。しかも、現在の日本では、3・1運動を、偏狭なナショナリズムに基づく「反日運動」であるかのように捉える人びともいます。さらに言えば、現在の韓国・朝鮮において発せられる様々な主張を、聞こうとも確認しようともせず、「あの人たちはわけのわからない、おかしいことをいっている」として片づけようとする風潮すらあります。そうした状況を目の当たりにする時、100年の間、日本社会は根本的には変わっていなかったのではなかったのではないかと思います。

もちろん、この100年間には、日本が朝鮮を植民地支配していた時期も含めて、社会全体のなかの支配・被支配の関係とは別に、個人が心を通い合わせ、文化や学術、スポーツなどの交流も積み重ねてきた事実もちろんありましょう。しかし、やはり問題の根本を100年間放置していたゆえに生じている、民族間の葛藤や対立は厳然として存在しています。そして、南北に分かれて軍事的緊張とそれがもたらす社会構造のひずみを強いられてきた朝鮮／韓国の人びとがそれを是正し、東アジアに平和を実現しようとしている時に、日本人は、過去の歴史も現在の自国の態度のあり方を省みることなく、極めて冷ややかな態度を示しています。

そうした現実を前にして、わたしたちはそれぞれがそれぞれの場でなすべきことは多くあります。そのことを念頭に置きながら、わたしたちは、遅ればせながら、100年前の3・1運動とそれを受け継ぐ闘いに応答することを提起します。そして、その応答の一つの方法として、これからの100年を構想し、それぞれの新たな3・1宣言を100字にまとめて発表することを私たちは呼びかけます。

内容は3・1運動の「宣言書」を読んで考えたことや発見、この100年間に起こったことで語り継ぎたいことや歴史の反省、韓国・朝鮮の人びとや、日本人、あるいは世界に訴えたいこと、自分が生きてきたことを省みて考えること、国の政策に望むことや自分自身の決意、あるいは、望ましい人びとの関係や社会のあり方、少しでも変えていきたいことなどが考えられます。それぞれが宣言を発表し、それを互いに読み、語り合うことは、これまでの100年の問題を明らかにし、今後の望ましい社会を構想することにつながるはずです。東アジアの平和、民主主義と人権をめざして力を合わせていきましょう。

## 3・1 朝鮮独立運動 100 周年に日本から応答する

# 2019 年 3・1 百字宣言 募集要項

呼びかけ 3・1 朝鮮独立運動 100 周年キャンペーン

呼びかけの趣旨に賛同していただいた皆様から、朝鮮半島の人びとへの想い、日本の現状への想いなどを込めた「2019 3・1 百字宣言」を広く募集します。

### 記

- (1)呼びかけの趣旨に反し、植民地主義を肯定したり、独立運動を否定するような内容のものはお断わりします。
- (2)原則として 100 字以内でお願いします。
- (3)団体・個人を問いません。国籍も問いません。また在外邦人とその団体も可です。
- (4)お名前(団体名)、ご住所(連絡先)、電話・FAX 番号、メールアドレスを明記ください。ご住所等につきましては一切公表いたしません。
- (5)お名前の公表で匿名希望も可能ですが、その場合も(4)については明記ください。
- (6)締切りは 2 月 15 日、当キャンペーン主催の 2・24 集会で公表します。
- (7)応募は、郵送・FAX も可ですが、公表の際の編集作業上なるべく Eメールでいただくとありがたいです。

E メールアドレス 191931sengen@gmail.com

郵送先 東京都新宿区高田馬場 3-13-1 B1 ピースボート気付 3・1 百字宣言担当

FAX 03-3363-7562

呼びかけの趣旨に賛同し、私たちの 3・1 百字宣言を連ねます。

名前(団体名)

住所(連絡先)

電話・FAX 等

E メールアドレス

【氏名公表 可・不可】

----- 【私たちの 3・1 百字宣言】 -----

\*ここに記載していただき FAX または郵送していただいても結構です。